

令和5年度 大原和服専門学園 学校関係者評価報告書

1. 学校関係者評価の基本方針

学園教職員で構成する自己点検自己評価委員会が取りまとめた自己評価報告書をもとに、学校関係者評価委員会を行い、委員の多角的な意見をふまえ、より質の高い効果的な学校運営の改善のための具体案をまとめ、それをもとに組織的かつ継続的な学園運営の改善活動を行うとともに、学園の関係者に当学園の情報を開示し共有することで学園に対する理解と協力を促すこともあわせて目指していく必要がある。

その結果、当学園の社会での認知を上げるとともに当学園で学ぶ学生に対する教育の質の組織的かつ継続的な向上を実現し、学園の社会的な役割を高めていくことを学校関係者評価の基本方針とする。

I. 重点目標

●学生数の確保が経営的に今後大きな課題となると思うが、対策はどのように考えているのか

(学園の方針)

18歳人口は現在約100万人ほどだが、昨年度生まれた人は73万人で今後も減少することが確実であるため、多様な学生が入学できる学校づくりが不可欠であると考えている。

令和7年度入学生より男子入学も認める方向である。また、現在、職業実践専門課程に認定されている学科があり、教育訓練給付金の対象講座となることが可能で、認定条件を整え対応していきたいと考えている。また、留学生については従来からの課題であった卒業後の就職が、専修学校の専門課程における外国人留学生キャリア形成促進プログラムの認定制度がはじまったことにより四年制大学同様の就職が可能となるため、日本語学校へ学生募集も始めるなど様々な制度を活用しながら多様な入学生の確保に結び付けていきたいと考えている。

●ここ2年ほどの入学生の減少はどのような原因なのか

(学園の方針)

新型コロナウイルス感染症の影響により収益事業の売上げが大幅に落ち込み、経費削減の必要から学生募集費用を絞り込んだことが大きな原因であると思われる。また、他の着物専門学校の入学状況を聞いても、ここ2年程度の入学生が減少している学校が多く、業界全体の問題も含まれていると思われる。一方、海外から着物の技術に対する体験ニーズもあり、新しい学習ニーズも生まれつつある状況である。令和7年度から2年ほどは離職者訓練などにも取り組み、多様な学生が入学できる学校づくりを進めていく予定である。

基準1. 教育理念・目的・育成人材像

●学生寮と学校給食は御校の教育の特徴の1つだと思うが、廃止することによる影響をどのように考えているのか。

(学園の方針)

学生数の減少により、学生の福利厚生の一環として行ってきた学生寮・給食制度を廃止する決断となった。これにより採算がとれていなかった収益事業部門がなくなることで、学園運営の負担が軽減されることになる。学生寮に関しては共同生活の良さがある一方、個人のプライバシーの問題もあり、近年は共同生活をする上での課題が大きくなってきていた。まずは、学園の教育内容のさらなる充実を図る必要がある。また、これから学生への影響を把握する必要があると考えている。

基準3. 教育活動

●今年2月に京鹿の子絞振興協同組合とインターンシップはよいことだと思うが、どのような内容で今後どのようにしていく予定なのか。

(学園の方針)

昨年、教育課程編成委員会で京鹿の子絞りの後継者育成についての取り組みについて意見交換をおこなったことがきっかけで、今回の取り組みとなった。京鹿の子絞振興協同組合が中心となり、数社の企業インターンシップを当学園と奈良きもの芸術専門学校と共同でおこなった。第1回目ということもあり、時間がない中での対応であったが、これから産業界との連携はますます重要になると思われるため、学校側の改善意見も伝えながら継続した取り組みにしていきたいと考えている。

●最近、大工の業界でも専門家が減少している一方、プロではない副業・兼業の大工が増えていると聞くと、和裁においても同様の取り組みが必要ではないか。

(学園の方針)

家庭から縫製がなくなったことにより、すべてがプロにしてもらうため、人手不足が加速している面がある。また、家庭で裁縫をする人が増えることにより、興味のすそ野が広がり、そこからプロを目指す人材も出ていくことも考えられる。また、着物を着る人は少なくとも修理が必要なため、自分で修理ができるようになれば着物を着る人を増やすことにもつながると思われる。現在の学校の状況では、人員の問題もあり取り組むことは難しいが、副業・兼業の和裁に関わる人材育成も検討していきたいと思う。

基準7. 学生支援

●高等教育の修学支援新制度の認定はよかったと思うが、学生への影響はどうか。

(学園の方針)

令和5年8月に文部科学省より高等教育修学支援新制度の機関要件をクリアすることができ認定をもらうことができた。令和6年度では数名の学生が認定をもらうことができた。今年度より学生寮を閉鎖したこともあり、生活費が支援されることは大きいと思う。また、来年度以降の学生募集においても何人の方に質問されたこともあり、今後の学生募集にもプラスの影響が出てくるものと思われる。